

# 調査団報告書

調査No.17

## 調査内容

名古屋市図書館のホームページのなごやカレンダーに、昭和29年10月3日に「東山動物園のカバ、重吉・福子の結婚式」と書いてあったけど、詳しく教えて。

## 調査手順

なごやカレンダーは、昭和29年『中部日本新聞』の記事を参考にしています。ほかに、カバについて書かれた本を探してみると、『河馬の方舟』『日本カバ物語』『カバに会う』の3冊が見つかり、それぞれに「大須の繁華街を嫁入り行列が練り歩いたカバ夫婦、重吉・福子」について書いてありました。けっこう有名なことだったのですね。大須あたりについての本を探してみると、『大須レトロ』に写真ののっていました。

## 調査結果

嫁入り行列をした東山動物園のカバは、昭和27年7月雄カバの重吉がアフリカから、雌カバ福子が昭和29年7月にドイツのハーゲンベック動物園からやってきました。福子が来てすぐの10月に結婚。名古屋の嫁入りは派手で有名。名古屋商工祭の一環で大須商店街が企画したイベントとして、嫁入り行列が企画されました。トラック3台の荷台には、ダブルベッドや張り子の箆笥、鏡台や長持ちなどの嫁入り道具がつまれていて、広小路、栄、大須を練り歩いたとのこと。結婚式の案内状まで、関係者に届いたそうです。『河馬の方舟』や『大須レトロ』には道具を積んだトラックの写真があり、『中部日本新聞』の記事には、喜びで興奮し福子に飛びつく重吉の写真があります。また、「かばの嫁入り参加御芳名」と表書きのある記録が個人のお宅に残されているそうです。

この夫婦は、東山動物園の重吉・福子という名前のカバとしては2代目。

初代は戦前に夫婦と子カバ1頭がいたが、戦争によりなくなっています。

また、3代目重吉と2代目福子も嫁入り行列と結婚式が、平成13年11月25日に行われています。このときは、当時の松原名古屋市長が仲人で、着ぐるみのカバが東山動物園内をパレードしました。

今回の調査で使った資料

『河馬の方舟』 宮嶋康彦／著 朝日新聞社 1987年

『日本カバ物語』 宮嶋康彦／著 情報センター出版局 1991年

『カバに会う:日本全国河馬めぐり』 坪内稔典／著 岩波書店 2008年

『大須レトロ』 名古屋タイムズ・アーカイブス委員会／編 樹林舎 2010年

『名古屋大須ものがたり』 沢井鈴一／著 堀川文化探索隊 2010年

『大須観音』 阿部泰郎／監修 大須観音宝生院 2012年

